

ミクロ経済学A/現代経済学I 第1回「イントロダクション」

法政大学 経済学部 平井俊行

自己紹介

氏名： 平井 俊行 (ひらい としゆき)

所属： 法政大学 経済学部

専門分野： ゲーム理論・ミクロ経済学・公共経済学

研究テーマ： 情報財取引や公共財供給などの問題の協力ゲーム理論分析、マッチング理論

ミクロ経済学

(狭義) 希少な財(・サービス)の分配について個々の合理的な消費者の好みや生産者の生産技術から出発して分析。

乱暴にまとめると「資源配分の問題」。

(広義) 人々の行動や意思決定を分析する。

ミクロ経済学

財・サービス：あらゆる商品やサービス。労働もサービスの一種。

希少な：財・サービスの量に限りがあること。

分配：誰が、どの財を、どれだけ手放し・そして手に入れるのか。

合理性：(所与である)目的を達成するために適切な選択肢を選ぶことができるということ。

市場

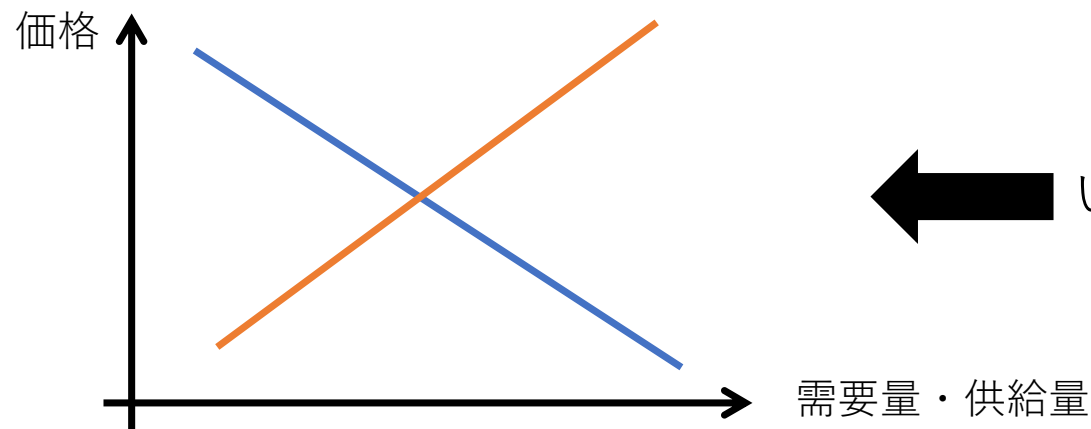
- 資源配分を決定する制度は複数考えられるが、現在支配的なのは市場機構。
- 特にAでは、各消費者や生産者が 価格受容者 としてふるまうことを前提とする完全競争市場を扱う。

完全競争市場

- 買い手も売り手も 価格受容者 (プライステイカー)
 - 価格を所与のものとして自身の意思決定をする。
- 与えられた価格のもとで買い手が購入可能な範囲で購入したいと思う量をその価格のもとでの 「需要量」 という。
- 与えられた価格のもとで売り手が販売できる範囲で販売したいと思う量をその価格のもとでの 「供給量」 という。

完全競争市場

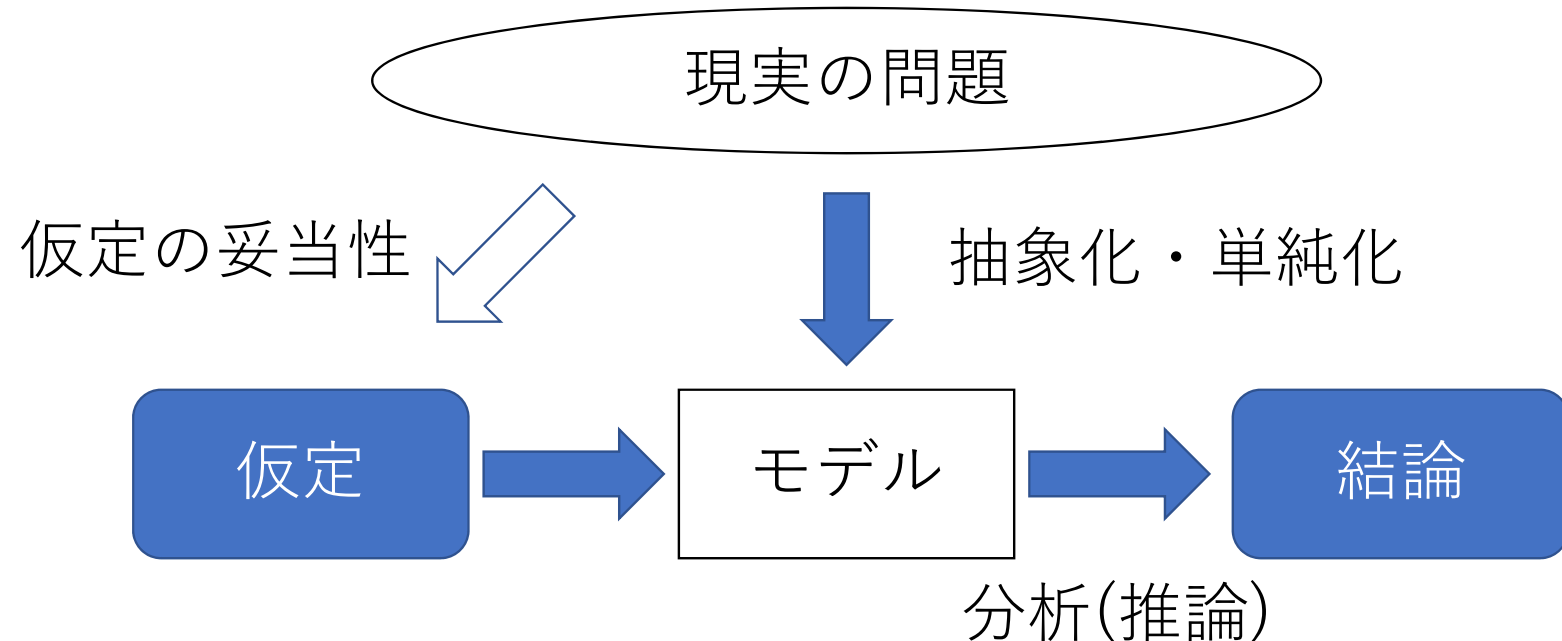
- 多数の買い手と多数の売り手
 - 自分一人で価格を変えようとしても他にも参加者が多数いるのでそちらに逃げられてしまう。
 - 与えられた価格を受け入れざるを得ない。
- 市場全体での需要量と供給量を一致させるように価格が決まっていく。



← いわゆるコレ

経済学における分析

- モデルによる分析。
 - モデル(=模型)。現実の問題を抽象化・単純化して記述したもの。
- モデルにおいて仮定から厳密な推論を経て結論を導く。



経済学における分析

事実解明(実証的)分析：どのような結果がもたらされるか？

規範的分析：もたらされた結果が善いのか悪いのか？

例：消費税を上げたときに・・・

- 資源配分がどのように変化するか ← 事実解明的分析
- その結果は善いものか悪いものか ← 規範的分析
 - 善し悪しの判断は価値基準をとる。
 - ある価値基準のもとで善いということと、その価値基準が正しいものであることはまったくの別物。

数学

- 分析をおこなううえで数学は非常に役立つ。
 - この講義でもある程度の数学を用いる。
 - とはいえ、実質的に必要になるのは、
 - 三角形・四角形の面積
 - 一次関数
 - 二次関数
 - 平方根
 - 連立方程式
 - 平均の考え方
 - (簡単な)微分の考え方と計算 ← 次回解説
- 小中高の数学(算数)

講義の目的

- 現在起きている経済現象を解説するのではなく、過去・現在・将来起こる経済現象に対して自分で「経済学的に」考えるための基礎を身に付けてもらうこと。
 - モデルの作り方、モデルの分析の仕方。
 - 新しい知識を習得するための土台となる知識。

次回以降の予定

- 微分の基本的な考え方・計算の仕方 （1 回）
- 部分均衡分析 （3 回）
- 消費者行動理論 （4 回）
- 生産者行動理論 （3 回）
- 一般均衡理論 （2 回）

評価について

- 中間試験30%
- 期末試験70%

講義の進め方について

- スライドを用いておこなう。
- 穴埋め式にしたスライドをメディアスクーリング受講システムにアップロードしておくので、各自でダウンロード・印刷してから講義を視聴すること。

参考書

- 伊藤元重「ミクロ経済学(第3版)」2018年、日本評論社、3000円+税
- レヴィット, S.、グールズビー, A.、サイヴァーソン, C.[著]、安田洋祐[監訳]、高遠裕子[訳]「レヴィット ミクロ経済学 基礎編」2017年、東洋経済新報社、3200円+税
- レヴィット, S.、グールズビー, A.、サイヴァーソン, C.[著]、安田洋祐[監訳]、高遠裕子[訳]「レヴィット ミクロ経済学 発展編」2017年、東洋経済新報社、3600円+税
- 神取道宏「ミクロ経済学の力」2014年、日本評論社、3200円+税

参考書

- 白石俊輔(著)、尾山大輔、安田洋祐(監修) (2014) 「経済学で出る数学　－ワークブックでじっくり攻める」 日本評論社
- 尾山大輔、安田洋祐(編著) (2013) 「【改訂版】経済学で出る数学　－高校数学からきちんと攻める」 日本評論社